

令和3年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター東部館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、男女共同参画に係る問題に関する相談、男女共同参画社会の形成に関する啓発、その他市長が必要と認める事業
成果指標	貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度
数値目標	61.9%以上／80%以上／3,700人以上／800人以上／80%以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体（東） （代表者）一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	61.9%以上	80%以上	3,700人以上	800人以上
年度実績	42.6%	99.0%	2,521人	375人
達成率	68.8%	123.8%	68.1%	46.9%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80%以上
年度実績	98.9%
達成率	123.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	59,399	38,189	21,210
稼働率	42.6%	38.6%	4.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
業務代行料	実績	53,546,670	60,866,747	7,608,670	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等による利用料金収入減に対する補填
	計画	45,938,000	55,830,000		
利用料金収入	実績	13,313,690	4,424,310	-8,519,310	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等による利用率低下
	計画	21,833,000	13,208,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	1,455,929	1,280,545	-2,258,071	新型コロナウイルス感染症の影響による自主講座の実施回数・定員減による減
	計画	3,714,000	9,597,000		
合計	実績	68,316,289	66,571,602	-3,168,711	
	計画	71,485,000	78,635,000		

令和3年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	37,290,706	40,306,002	1,620,706	当初計画と比して一人当たりの単価の増
	計画	35,670,000	36,500,000		
物件費	実績	29,868,962	33,864,302	-2,570,038	新型コロナウイルス感染症による光熱水費の減
	計画	32,439,000	33,054,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	1,751,341	1,634,582	-1,624,659	新型コロナウイルス感染症の影響による自主講座の実施回数・参加者減による減
	計画	3,376,000	9,134,000		
合計	実績	68,911,009	75,804,886	-2,573,991	
	計画	71,485,000	78,688,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	68.8%	一	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等の影響あり
貸室等利用者満足度	123.8%	S	
情報・図書コーナー利用者数	68.1%	一	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等の影響あり
講座受講者数	46.9%	C	
講座受講者満足度	123.6%	S	

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用促進に向け、Twitter、ブログ、地域SNS（新規登録）を活用し、貸室情報（施設紹介、空き情報）や事業案内など、幅広い年齢層に対する情報発信に努めた。 貸室のWeb予約やコンビニ収納についても適切に対応しており、Web予約の利用率が高いことは評価できる。 施設利用の状況は、利用者数・利用率ともに、令和2年度より改善されている。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新たに、学習機会の提供として、オンラインマッチセミナーとして作製した動画をクレオ大阪公式YouTubeチャンネルに公開する取組みを行い、18,000回を超える視聴数となった。 また、昨年度に外部有識者から意見のあった「男性を対象とした事業」「外国人住民が参加しやすい事業」について、地域のグループ等との連携事業を実施する等、有識者の意見を踏まえた新たな取組を適切に行った。 人材育成として実施している「プロ講師になろう塾」について、セミナーの実施から実践の場の提供へと、継続性のある事業展開を行っている点が評価できる。より継続性のある事業展開を期待する。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> 女性の就業・起業等を支援するためチャレンジスタジオを運営し、集中的な学習や情報交換の場を提供するとともに、利用者に有益な情報提供を行った。 相談室を活用した事業として、新たにライフプラン相談を実施し、コロナ下で浮き彫りとなった課題に対応した。

令和3年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	S	<ul style="list-style-type: none"> SDGsフェスタとして市民参画型のイベントを開催し、フードドライブやチャリティグッズ販売を実施するなど、SDGs等についての理解を深める機会を提供した。 地域連携事業として、近隣小学校児童の作品展示、城東区役所と連携した絵本展（子育て層への情報提供など）、地元町会への広報協力（回覧板・広報板の活用）を新たに実施しており、引き続き、地域との密な連携を図ってもらいたい。 フードドライブについて、関係機関と連携を図り常設化を図ったことについて、継続して取り組んでもらいたい
-----------------	---	---

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 電力およびガスの需給契約において、競争的手法による事業者選定を実施した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを不可させた。 共用部および諸室の照明設備すべてをLED照明設備に更新することで、光熱水費の大幅な削減に努めた。 省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るために、デマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 事業体構成者による専門的な知見を施設の管理運営に生かしており、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的に実施している。 利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費削減に努め、経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営を行った。

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和3年度実績】

スタッフ対応満足度：99.3% 受講者満足度：98.9%

【参考：令和2年度実績】

スタッフ対応満足度：99.6% 受講者満足度：100%

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、意見のあった「外国人住民が参加できる事業」について、令和3年度から日本語教室のボランティアと協力して日本文化に関する事業を実施しており評価できる。今後、外国の文化を日本人に伝えるといった相互理解につながる内容についても取り組んでもらいたい。 男の居場所づくりの事業である「男のしゃべり場」については、企画として興味深く評価できるが、参加者が少ないことから、引き続き参加者増加に向けた工夫に取り組まれたい。 さまざまなテーマでセミナーなど各種事業を展開しているが講座受講者数が他館に比較して少ないとから、受講者ニーズを踏まえた事業実施を工夫いただきたい。なお、実施にあたっては、成果目標であるセミナーの受講者数を単に達成するためだけに流行のテーマを採用するのではなく、男女共同参画の視点を盛り込んだ事業を行っていただきたい。 当日のみの配信となっているオンラインセミナーについては、より広く男女共同参画施策に関する情報を提供できるよう、例えば、会員専用チャンネルで配信するなど、現状での課題（著作権や個人情報等）を解決する手法を検討いただきたい。 貸室の空き状況、イベント情報、セミナーの申込状況など、タイムリーな情報発信を行うことで、施設利用や事業参加の促進に努めていただきたい。
--

令和3年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用や講座受講に関する満足度の項目は、目標値を上回っている。（なお、新型コロナウイルス感染症による影響がある事項は対象外とする。） 引き続き、利用者や受講者の具体的意見を踏まえた改善に努めていただくとともに、提案時の目標を達成できるよう、課題分析し、利用促進に努めていただきたい。
管理運営の履行状況	B +	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に比して、フードバンクへの取組や男性を対象とした事業展開など企画全体に工夫が見られる。 当日のみの配信となっているオンラインセミナーについては、より広く男女共同参画施策に関する情報を提供できるよう、例えば、会員専用チャンネルで配信するなど、現状での課題（著作権や個人情報等）を解決する手法を検討いただきたい。 貸室の空き状況、イベント情報、セミナーの申込状況など、タイムリーな情報発信を行うことで、施設利用や事業参加の促進を強める取組みを実施していただきたい。
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）	-	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響及び本市の対応を踏まえ、当該項目については評価対象外とする。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、人材育成・チャレンジ支援事業を積極的に実施することで研修・講習の講師育成に努めるなど、本市の男女共同参画施策の展開において創意工夫が見受けられ、令和3年3月に新たに策定した「第3次大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営を行っていると評価できる。 施設利用の状況（利用者数・利用率）については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、提案時の目標を達成できるよう、引き続き課題分析し、利用促進に努めてもいただきたい。 引き続き「多様な人材育成・活用」について取り組むとともに、中小企業や外国人が多いといった地域特性を踏まえた事業についても積極的に取り組んでいただきたい。